

大学英語教育における国際交流の理論と実践

Theory and Practice of International Relationship between Colleges from the Point of College English Education

吉田 恒 義 山 本 健 一
Tsuneyoshi YOSHIDA Kenichi YAMAMOTO

Abstract

International relationships between colleges have come into prominence since the 1990's. Maintaining step with the times, more and more Japanese colleges have tried to become affiliated with colleges in the U. S. A., the U. K., Australia, New Zealand, and so on. In 1991, the English Department of Gifu City Women's College (GCWC) began to study ways in which an international relationship between GCWC and an American college could be incorporated into a college English program. To better understand this, the authors designed and put into practice a theoretical framework for international exchange.

A new subject, "English Study Abroad" was added to the curriculum, for the purpose of making use of international exchange in an English program. As a result, GCWC exchanged information with Thomas More College (TMC) in Cincinnati, Ohio. The aim of this paper is to make clear the problems concerning the creation of an international exchange program. The correspondence between GCWC and TMC from January 30, 1992 to June 16, 1992 will be explained to get some clues as how to further promote international and cultural exchange between Japanese and American colleges.

(1)

平成の時代に入って、国際化への時代の流れが顕著なものとなってきた。こうした時代の流れの中で、英米等の大学で英語研修を実施する大学が増えてきて今日に至っている。平成3年度(1991)に入ってから岐阜市立女子短期大学英語英文学科¹⁾においては、このような時勢に対応するために、国際交流を英語教育の中にかに生かしていったらよいか検討しつつ、国際交流についての具体的な理論的枠組みを構築し、それを実践的な段階に推進していくための方策を立てることとした。

大学英語教育においては、英米文学、英語学、英米文化論、実用英語等の専門教育科目の履修は重要であるということはいうまでもない。しかしそのこと以上に重要なのは、授業題目に沿って質問や試験もすべて英語で行なう講義科目を専門教育カリキュラムの中に導入するということである。本学英語英文学科は教育理念・目標の一つとして「真の国際感覚を身につけた人材を育成する」²⁾こととしている。こうした教育理念・目標に沿って、英語英文学科では国際交流を英語教育の中に生かしていくために、専門教育科目のカリキュラム改正を試みることにした。

カリキュラム改正にあたって、国際交流、アメリカの大学、異文化体験、英語コミュニケーション、単位認定等をキーワードにして、実用英語科目の中核にふさわしい「海外英語演習」という名称の新科目をカリキュラム表の中に組み入れ、平成4年(1992)4月開講を目標に準備を進めることにした。

「海外英語演習」を開講するにあたっての基本事項として次のようなことを設定した。

- 1) 本学英語英文学科の学生がアメリカの大学で英語研修を受け、単位を取得した場合、その単位を本学の卒業必修単位数の中に加えて認定できるようにすること。
- 2) 英語研修を中心とした3週間程度のプログラムを、アメリカの協定大学で作成してもらうこと。
- 3) プログラムの中にアメリカの文化が体験できるような要素、たとえばフィールド・トリップ等を組み込んでもらうこと。
- 4) 受講学生には多くの経済的な負担を負わせることになるため、「海外英語演習」は選択科目とすること。

以上のような点を満たした「海外英語演習」科目の開講を国際交流推進のための第一の短期目標とし、次にその目標実現のために学生を受け入れてくれるアメリカの大学との姉妹校締結が急務になってくる。国際交流の中・長期的目標としてはアメリカの協定大学と本学のそれぞれの専任教員を一名ずつ毎年一年間の期限を設けて交換するとか、本学卒業生がアメリカの大学への3年次編入学が出来るようにするとか、本学の学生が在学期間中に、半年間アメリカの協定大学にて留学し、しかも卒業を半年間遅らせる

ことなく本学を2年間で卒業できるようにカリキュラム改正をすること等である。以上が国際交流を大学英語教育に生かす理論的な枠組みである。

(2)

大学英語教育に生かす国際交流の理論的な枠組みを以上のように設定したのち、これを実践に移すための具体的な作業が必要になってくる。先ず「海外英語演習」受講学生を受け入れてくれるアメリカの大学を選定することが最大の問題となった。結果的に、本学はアメリカのシンシナティ市郊外に位置するトマス・モア大学の協力を得て、平成4年度(1992)「海外英語演習」科目を開講することが出来たのであるが、どのような経緯でトマス・モア大学との国際交流に辿り着くことが出来たのか。小論では本学とトマス・モア大学との間でやり取りされた平成4年(1992)6月までの文書³⁾を紹介しつつ、トマス・モア大学との国際交流に至るまでの経緯を明らかにし、かつ国際交流を実践に移していく際に生じた様々な問題点等について考察していく。このことによって大学英語教育における国際交流をより一層深めていくための手掛かりとしたい。

岐阜市立女子短期大学とトマス・モア大学との出会いの発端は平成3年(1991)10月にさかのぼる。岐阜市は昭和63年(1988)5月アメリカのシンシナティ市と姉妹都市提携を結び、平成3年(1991)10月、岐阜市・シンシナティ市交流3周年記念友好使節団がシンシナティ市を訪問することとなった。この使節団の副団長として、小瀬洋喜岐阜市立女子短期大学学長(学長在職期間、平成元年(1989)4月—平成5年(1993)3月)が参加した。当時、岐阜市はシンシナティ市と様々な分野における具体的な実りある国際交流を目指していた。本学に対してシンシナティ市あるいはシンシナティ市郊外の大学との交流を強く希望していた岐阜市の意向を踏まえ、小瀬学長はシンシナティ市訪問の機会を利用して、シンシナティ市内及び近郊の各大学に対して岐阜市立女子短期大学との姉妹校提携の検討を申し出、打診を行った。その結果、シンシナティ市郊外にあるトマス・モア大学が非常に積極的な態度を示してきた。

このような状況の下で、従来から専門教育科目「海外英語演習」の必要性を強く感じていた本学は、すでに述べたように平成4年(1992)4月実施を目指してカリキュラム改正の準備を進めると同時に、「海外英語演習」科目の開講に伴う引率教員の渡航費、滞在費を公費として支給してもらえるように、次のような文書を岐阜市に提出した。

「海外英語演習」開講の趣旨

近年の急速な国際化の中で、教育分野での国際指向も多様に推進されることになろう。平成3年度の「短期大学設置基準の一部を改正する省令」(第五章、第十四条、第2項)によれば、短大の学生は卒業必修62単位以上のうち、15単位までは外国の短大・大学で修得してもよいことになった。

こうした状況の中で、今後一層国際化が進められていく時勢に対応するためにも、また学生の要望に応えるためにも、単位認定をしてくれる英語研修プログラムを有するアメリカの大学へ学生を送り込むことは必要なことである。そして学生が英語研修で取得した2単位を、本学英文学科新設予定科目「海外英語演習」の履修により修得したものとみなしてやりたい。

「海外英語演習」の履修、すなわち海外英語研修に参加することにはたくさんの利点が見出される。その中でも一番大きな利点は、英語の実用運用能力を向上させることが出来るということである。静岡県の常葉学園大学では、過去3年間(1988-90年度)にわたって、海外語学研修(アメリカのクレイトン大学にて6週間)に参加する学生全員を対象に、研修前と後にTOEFLを受験させた。その結果、研修前と比較して、研修後のTOEFLの成績のほうが良く、スコアの伸びを具体的に示せば、1988年度19.54点、89年度29.96点、90年度29.87点という驚くべき高い伸びを示していることがわかった。(徳松信男「海外夏期英語研修の成果とその評価について」常葉学園大学研究紀要、1990年) 海外英語研修の成果が、大学の研究紀要論文に報告されているように、特に学生の英語運用能力の向上という点に顕著に示されていることは言うまでもないことである。

海外英語研修の利点をさらにいくつか列挙してみたい。

- ◎学生は海外に身を置くことによって、日本文化を客観的に見つめ直す機会を持つことが出来る。
- ◎異文化体験を通して、アメリカの社会、習慣等の理解を深めることに役立つ。
- ◎海外英語研修の存在は、研修に参加しようとする学生にとっては、英語学習の大きな動機づけにもなり、それが学生の積極的な学習態度にもつながっていく。

大学教育における国際交流の理論と実践

- ◎海外語学研修を体験した学生は、就職する際、特に旅行業関係の企業に就職する際、語学研修についてはある程度の評価を
してもらえるとということで、有利である。(長野県の清泉短大の例)
- ◎海外語学研修の実施は、学生にとっては大変な魅力であり、その結果、入試倍率が年々上昇し、それに比例するかのように
学生の質も向上してきている。(長野県の清泉短大の例) つまり海外語学研修は大学のPRにもなるのである。
- ◎岐阜市の姉妹都市であるシンシナティの大学での語学研修が実現すれば、研修期間中に岐阜市を紹介する機会が得られる。
このように海外英語研修には様々な利点があり、是非とも本学英文学科専門教育科目としての「海外英語演習」(2単位)
を新しく開講したい。については「海外英語演習」受講学生がシンシナティの大学で英語研修をするにあたって、引率教員1名
が必要である。よって教員の渡航費、および滞在費の予算請求をしたい。

「海外英語演習」開講に伴う引率教員の出張旅費の必要性についての理解は、上記の書面にもかかわらず岐阜市の関係部局で得
られなかった。結局、引率教員の伴わない形で「海外英語演習」科目開講の準備を進めざるを得なかった。こうした事態を踏まえ、
平成3年(1991)12月、本学はトマス・モア大学との国際交流の可能性を探るため、トマス・モア大学に対して3週間程度の夏期語
学研修と3年次編入学の件について非公式な形式による書面で尋ねた。これらの件について、翌年の平成4年(1992)1月に次のよ
うな返事をトマス・モア大学から得ることが出来た。

January 30, 1992

Dr. Youki Ose
President
Gifu City Women's College

Dear Dr. Ose:

Many thanks for your letter and the photograph. I am sorry that I did not respond sooner. It has taken a great deal of
time to design some possible programs for your school:

1) We are still interested in pursuing an articulation agreement with you. I am trying to determine how credits would
transfer. I have a few questions.

- a) You have a course listed as "Seminar of Debating." Is this course conducted in English?
- b) Do your physics and chemistry classes have laboratories and laboratory time/work? Can you provide fuller
descriptions of them?
- c) Your 2 credits of Philosophy—is that Western Philosophy or Eastern Philosophy?
- d) Do you offer any fine arts courses, for example art, painting, music?

2) Your students might be interested in a Summer Language and Cultural Program (3 weeks), being offered by us and a
nearby university, Northern Kentucky University. Northern Kentucky University is a very modern and safe campus
about 10 minutes from Thomas More College. The Program lasts 3 weeks. Northern Kentucky University is offering a
special price for its "sister city university," Gifu University—only \$2,100, including English classes, accommodations, food,
excursions, and transportation for group activities (by bus). This price does not include round-trip airfare from Japan or
personal expenses. Thomas More is willing to offer Gifu City Women's College the same price per student—only \$2,100.
Are any of your students interested? The institute will begin on July 19, 1992, one day before the airline fares from
Japan increase; this will save your students a lot of money. Also, for an additional \$250, I think Thomas More College

can offer your students 1-credit hour of English for the three weeks.

3) Thomas More College is trying to raise funds in the United States to provide half-tuition scholarships to students from your college to finish their degrees at Thomas More. Full-tuition is \$8,400 per year, so we hope to offer some of your most intelligent students \$4,200 scholarships. This is contingent upon our ability to raise the necessary scholarship money, but we are trying very hard. Please note that Thomas More has an almost perfect 100% placement rate for its graduates to medical, law and business graduate schools in the United States. Are you interested in this proposal?

Many thanks for your patience. I will continue to work on these projects—please respond.

Sincerely,

Paul A. Tenkotte, Ph. D.
Director, International Studies
Thomas More College

上記の1)と3)は3年次編入学に関連した内容であり、2)は夏期英語研修プログラムに関するものである。夏期英語研修プログラムに関して更に次のような返事を得た。

March 10, 1992

Dr. Youki Ose
President
Gifu City Women's College

Dear Dr. Ose:

Spring has arrived in Cincinnati and the flowering trees are in bloom. We hope that you are well and have had an opportunity to consider our fax of 30 January 1992. We would be interested in knowing if you are still looking for a "sister school" or if you have any students interested in the Summer Language and Cultural Program.

We are enclosing another copy of our original fax, in case you did not receive it. We remember your visit with happy memories, and hope that you can return someday to Cincinnati. We look forward to hearing from you. Many thanks for your interest.

Sincerely,

Paul A. Tenkotte, Ph. D.
Director, International Studies
Thomas More College

Mary S. Campbell
Director, International Services

上記の書面には次のようなサマー・プログラムの案内文が添付されていた。これによればサマー・プログラムはトマス・モア大学

が近隣のノーザン・ケンタッキー大学の協力を得て合同企画したものであることがわかる。

SUMMER LANGUAGE AND CULTURAL INSTITUTE

Designed for Japanese Students

Sponsored by Northern Kentucky University

And Thomas More College

July 19 – August 9, 1992

Description:

The Summer Language and Cultural Exchange is designed to offer Japanese students three weeks of intensive English language training and opportunities to explore Midwestern American culture. Students will attend English language classes for three hours each weekday. The remainder of the day will be spent practicing their newly acquired language skills either at the university or while attending a minimum of three cultural excursions per week.

Faculty and Staff:

English language instruction will be provided by experienced English language faculty. The classroom experiences will be reinforced through opportunities for Japanese students to practice their English language skills with staff members. The staff members will accompany the students on cultural excursions and live in the same dormitories as the students throughout their stay.

Accommodations and Food:

To maximize the American university experience for the Japanese students, students will live in university dormitories and eat in the university cafeteria. Rooms are double occupancy, linen service provided. Meals will be provided by the university cafeteria. Students will receive a meal card that will allow them to select and eat the American food of their choice. Three meals per day are provided. In addition, special meals, including a picnic and a farewell banquet, are included.

Northern Kentucky University:

Northern Kentucky University is comprised of four colleges: College of Arts and Sciences; College of Professional Studies; College of Business; and Chase College of Law. More than 11,000 students attend Northern Kentucky University during each fall and spring semester. With the lower summer enrollments, Japanese students attending the Summer Language and Cultural Institute will have easy access to all the facilities including swimming pool, and tennis courts.

Northern Kentucky University, located just 10 minutes from downtown Cincinnati, Ohio offers unique opportunities to explore American culture. Within short drives are: Union Terminal/Museum of Natural History; Cincinnati Reds Baseball; Kentucky Horse Park; Krohn Conservatory; Taft Museum; Ohio River with riverboat excursions; Cincinnati Zoo; and Kings Island Amusement Park. In addition, shopping and entertainment are easily accessible. All of these sites are featured excursions for the Summer Language and Cultural Institute.

Costs:

\$2,300 US dollars (\$2,100 to Gifu University and Gifu City Women's College students) per student. Inclusive of language instruction, accommodations, food, excursions, and transportation for group activities. Not included: airfare and personal expenses.

3 年次編入学の件とサマー・プログラムの件についてトマス・モア大学は本学の意に添うように迅速な対応をしてくれた。これまでの経緯からも明白なように、シンシナティ市郊外のトマス・モア大学は本学との国際交流に一貫して積極的な態度を表明してきた。トマス・モア大学はどのような大学であるのか、ここでトマス・モア大学の概要を示しておく。

トマス・モア大学はアメリカのグレーター・シンシナティに設置されているカトリック系の四年制私立大学で、芸術、経済、哲学、医療技術など 17 学科を持っている。トマス・モア大学は 1921 年に設立されたが、1968 年にアメリカの大統領リンドン・バインズ・ジョンソンの後援を得て、現在の 320 エーカーの地に移転新築した。シンシナティ市の市街地から車で 10 分の位置にある丘陵地の美しい大学である。学生数は約 1300 名で、1 人の教員につき 11 人の学生という少人数教育を進めている。

上記の概要からも明白なように、トマス・モア大学は小規模ではあるが教育環境が充実しており、本学の学生が英語研修を受けるのに十分な環境を整えていると言えよう。

トマス・モア大学での学生用英語研修実施の可能性が極めて高くなったと判断した本学は、トマス・モア大学からの 1 月 30 日付および 3 月 10 日付の文書の内容を慎重に検討し審議した上で、トマス・モア大学との交流を実現化するために次のような 3 月 17 日付のファックス文書をトマス・モア大学に送信した。

March 17, 1992

Dr. Paul A. Tenkotte
 Director, International Studies
 Ms. Mary S. Campbell
 Director, International Services
 Thomas More College

Dear Dr. Paul Tenkotte and Ms. Mary Campbell;

Many thanks for your fax of 30 January and 10 March, 1992. I am sorry that I did not respond sooner. We have had a discussion several times on having a sister school, and now we are really interested in establishing a sister relationship with your college and would like to take a positive attitude toward it.

1) As concerns your questions, our answers are as follows:

- a) "Seminar of Debating" is conducted in English, in which the native full-time teacher gives instruction..
- b) There are few students who take Physics and Chemistry every year, and those classes do not have laboratories.
- c) Our Philosophy class is Western one.
- d) Our fine arts courses are discontinued because of the new curriculum, therefore we will not have these courses.

2) I cannot tell you the number of the students who want to join your Summer Language and Cultural Program now, because I think many freshmen will be interested in it and they will enter our college in April. I am sure that I can tell it at the end of April. I would like to ask you if it is all right that our faculty cannot go to Cincinnati with the students who join your program this summer because of the limited budget.

Thank you very much for your consideration.

Yours sincerely,

Dr. Youki Ose
President,
Gifu City Women's College

本学はトマス・モア大学との姉妹校提携に前向きであること、またサマー・プログラムについては引率教員の同行は予算の関係上ほとんど無理であることを中心とした内容の文書を送信した。この文書に対して、トマス・モア大学から次のような返事が速やかに送られてきた。

March 20, 1992

Dr. Youki Ose
President
Gifu City Women's College

Dear Dr. Ose:

Thank you for your fax of March 17, 1992. We are encouraged by your interest in the "sister school" relationship. Thank you for your response to our specific questions regarding your curriculum. We have one additional question: what does your Mathematics course include?

We must still consult with Thomas More's Registrar and Dean before we can give you final approval for transfer of credits. We have tentatively outlined the following:

GIFU CITY WOMEN'S COLLEGE COURSES	GIFU credits	THOMAS MORE COLLEGE COURSES	TMC transfer credits
Economics I	2 credits	Social Science Core Requirement	2 credits
Economics II	2 credits	Social Science Core Requirement	2 credits
Sociology	2 credits	Social Science Core Requirement	2 credits
Mathematics ??? (see letter above)	???	???	???
Seminar of English Communication or Seminar of Debating (in English)	4 credits	Speech Core Requirement	3 credits

French	2 credits	Foreign Language Core Requirement	2 credits
English Composition I	2 credits	Foreign Language Core Requirement	2 credits
English Composition II	2 credits	Foreign Language Core Requirement	2 credits
Physics/Chemistry/Biology (no laboratory work available)	6 credits	Natural Science Core Requirement	3 credits
Philosophy/Ethics	4 credits	Does Not Transfer	0 credits
Japanese Literature	4 credits	Transfers as an Elective	4 credits
British Literature/American Literature/English Poetry/Current English	6 credits	Transfer as Electives	6 credits
Intro. to British, American Literature/History of British Literature/History of American Literature/Special Seminar of British, American Literature	8 credits	Transfer as Electives	8 credits
Seminar of British Literature/Seminar of American Literature/Seminar of English Linguistics	12 credits	Transfer as Electives	12 credits
British and American History	4 credits	World Civilization II Core Requirement	3 credits
	60 credits		51 credits + ??? Mathematics

The above chart is not final, so we would appreciate your appraisal. We will be sending you another list of some additional Thomas More course requirements. We assume that your students would be interested in completing a major in International Studies. Is this correct? We have a special American Studies concentration in International Studies for international students. Ordinarily, International Studies is a 4-year degree, but with the number of transfer credits, can be completed sooner. We will send you further details on the International Studies program.

We are pleased that a number of your students will join our Summer Language and Cultural Program, and we look forward to meeting them. We understand that you cannot release this information until the end of April. We believe that at least one teacher or parent should accompany the students. We will provide additional supervision. We can tentatively offer room and board for one teacher or one parent, but they must pay for their own airfare.

Thank you for your response. We look forward to hearing from you soon.

Sincerely,

Paul A. Tenkotte, Ph. D.
Director, International Studies
Thomas More College

Mary S. Campbell
Director, International Services

3月20日付のトマス・モア大学からのファックス文書の内容をここで整理しておく。先ず3年次編入学の件についてであるが、

大学教育における国際交流の理論と実践

本学英語英文学科の学生が卒業後、トマス・モア大学国際関係学部で学ぶことになった場合、本学で取得した単位がどの程度認定されるかということが上記の表に示されている。表によれば本学で取得した 60 単位のうち 51 単位がトマス・モア大学の卒業必修単位数として認定してもらえるということであり、トマス・モア大学への 3 年次編入学が可能になっている。

次に 3 週間のサマー・プログラムについてであるが、アメリカの他大学でのサマー・プログラムと比較して費用が 2300 ドルという高めに設定してあるため、費用を安くしてもらい必要性を感じた。また、トマス・モア大学は一貫して本学からの引率教員を希望しているために、引率教員不在という形でサマー・プログラムの実施が出来るのかどうかという問題が生じた。費用や引率教員についての問題点は生じてきたが、姉妹校提携に向けての交流がかなり具体的になってきたということが言える。サマー・プログラムの費用や引率教員についての本学の考えをトマス・モア大学に伝えるために次のような文書を送った。

April 15, 1992

Dr. Paul A. Tenkotte
 Director, International Studies
 Ms. Mary S. Campbell
 Director, International Services
 Thomas More College

Dear Dr. Paul Tenkotte and Ms. Mary Campbell;

We are very pleased to have received the tentative program of transferable credits. I hope that in the future our students can join the International Studies degree program.

As for our mathematics course, it consists of Introductory Statistics: population and sampling, correlations, probability distribution, estimation/test of statistical hypothesis, and analysis of variance/test of goodness of fit.

We are looking forward to receiving more information about the International Studies program: credits, courses, work-study, etc. . . .

Furthermore, the Summer Language and Cultural Program sounds very challenging and well organized. We have been reviewing many summer programs of E. S. L., including Xavier University. One question that has arisen is that of cost. The summer fee appears to be a bit too competitive. Our students have no funding from the university and must come up with the money themselves, therefore we would like an affordable program that would be open to many students. Xavier's program is a much lower cost for their 6-week program and the overall fee includes the credits obtainable in their program. Do you think we could compromise a bit on the general costs? If we could come up with a lower estimate more students would be able to use the program which would be profitable for both our schools.

As for the suggestion of a teacher or parent chaperon, unfortunately it is impossible this year because of funding. Next year there is a greater possibility for funding and a chaperon. Will this absence of a chaperon cause a problem?

We want to thank you once again for all your effort and organizing of this summer program and we hope that we can reach a good compromise and that students will have the opportunity to study in your program.

We are looking forward to hearing from you soon.

Yours sincerely,

Dr. Youki Ose
President,
Gifu City Women's College

本学からの平成4年4月15日付のファックス文書に対して、次のような返事がトマス・モア大学から送られてきた。

April 16, 1992

Dear Dr. Ose
President
Gifu City Women's College

Dear Dr. Ose:

Many thanks for your recent fax of April 15, 1992. We hope that we can reach a compromise on several of the topics. In regard to the Summer Language and Cultural Institute, we have negotiated a new price. Several factors reduced the costs:

- 1) We have decided to hold the institute at our own campus (Thomas More), instead of our neighboring college, NKU. This saves very much money.
- 2) We have reduced a few items. There will be no linen service. Bedding, towels, soap, etc. will be provided, but the students are responsible for their own laundry. We have washing machines and dryers available at no cost.
- 3) Since you will not be sending a chaperon, for whom we usually provide room and board, the costs are also reduced.
- 4) The American rate of inflation has slowed very much, so many of our cost increases are less than we had anticipated.

Based upon the above factors, we can offer your students the following:

- I. \$1,650. This includes:
 - A. 3 weeks of English language instruction (5 days per week, at least 3 hours per day) by a qualified English professor.
 - B. Room and board in air-conditioned Thomas More College campus dormitories (3 meals per day) for 3 weeks.
 - C. Two American student helpers (mentors), who will live with your students in the Thomas More College dormitories.
 - D. Three of four field trips per week, including transportation and entrance fees.
 - E. Textbooks and materials.

F. Use of the campus sports facilities.

II. \$340 additional for those students wishing to earn 2 ESL college credits. These students will be required to submit completed assignments for formal grading purposes. The summer tuition rate at Thomas More is \$170 per credit hour (2 credits x \$170 = \$340). This is the same tuition rate charged to all students, regardless of nationality.

Therefore, for \$1,990, a student can study and also earn 3 credit hours. This is a substantial reduction from the original price quoted to you. Basic costs of the program, based upon 15 participants from Gifu City Women's College, cannot enable us to reduce this cost any further. Of course, the students themselves are responsible for their airfare, as well as proof of health insurance coverage. We do not require additional health insurance coverage if a student's plan covers the costs overseas.

We are sending along a sample application form for your use. You may photocopy this if you like. We hope that this new price is satisfactory. We are a small, private college that offers individual attention to its students, and quality education. We are located in a very safe area with many Japanese companies. Americans here in Northern Kentucky are very hospitable to the Japanese. Our college even has classes in Elementary Japanese and many classes in Asian history.

We believe that your mathematics course appears very good, and should possibly transfer, although we still need to talk with our Dean and Registrar to confirm this.

Many thanks for your quick response and interest.

Sincerely,

Paul A. Tenkotte, Ph. D.
Director, International Studies

Mary S. Campbell
Director, International Services

トマス・モア大学からの返事の内容は、本学の要望に応じてサマー・プログラムの実施方法および内容の見直し・検討によって費用を当初の2,300ドルから1,990ドルにするというものであった。トマス・モア大学は当初、サマー・プログラムをノーザン・ケンタッキー大学との共同企画で実施する予定であったが、プログラム内容をトマス・モア大学独自の企画内容とし実施場所をトマス・モア大学に限定することによって費用の削減を図った。変更された費用に関して、本学は慎重な検討を加えた結果、妥当な額であると判断したので、次のような返事をトマス・モア大学に出した。

April 28, 1992

Dr. Paul A. Tenkotte
Director, International Studies
Ms. Mary S. Campbell
Director, International Services
Thomas More College

Dear Dr. Paul Tenkotte and Ms. Mary Campbell:

First we would like to thank you for renegotiating with us. We have found the changes very satisfactory. The cutbacks you have made do not interfere with the summer program's academic or living standards therefore we are very pleased. The new price range makes it much more affordable for our students.

With regards to the overall price of the program we would like to know if it includes one credit or if we should add an additional \$170 to the base cost? Furthermore, how would these credits be transferable if the students were to transfer to your college in the near future? For example, could a student use these credits as a foreign language credit, or strictly as an E. S. L. credit?

We are very interested to hear more about your American Studies Program. Would it be possible to fax us an outline of the program's curriculum and credit system? We are also eager to hear about the transfer credits and their confirmation by the Dean and Registrar so that we may discuss these possibilities of continued studies at your college with some of our promising students.

Once again thank you very much for all your patience and aid in making possible a sister relationship between our schools and our nations.

Sincerely,

Dr. Youki Ose
President,
Gifu City Women's College

本学からのファックス文書に対して、次のような返事がトマス・モア大学から届いた。

April 28 1992

Dear Dr. Ose
President
Gifu City Women's College

Dear Dr. Ose:

We thank you for your fax of 28 April 1992. We are pleased that you are interested in our summer language program for your students. We are sorry that we made a mistake in one sentence. Both prices are correct: \$1,650 and \$1,990. Thank you for finding our mistake. The sentence should read: "Therefore, for \$1,990, a student can study and also earn 2 credit hours." These credits could apply towards the foreign language credits at Thomas More, if a student does not already have the required number of credit hours transferred from Gifu City Women's College. Otherwise, the 2 credits would count towards the 128 total credit hours needed to graduate from Thomas More.

Today, we are faxing some additional information about our International Studies majors at Thomas More. Pages 1 and

大学教育における国際交流の理論と実践

2 describe a B. A. degree in International Studies which could be selected by foreign students. We believe that your students might be more interested in the B. A. degree program described on page 3: American Concentration for Non-Native Speakers of English. This is the program we described to you in our fax of 20 March 1992, in a chart entitled, "Thomas More College and Gifu City Women's College, B. A. in International Studies (American Concentration) Proposal." We would be happy to send you additional brochures by mail if you would like them. Please inform us. We will work towards writing the final documents for an agreement, with transfer arrangements, with our Dean and Registrar. This might take several weeks. This is an extremely busy time now. This is the last week of classes this semester, and next week is examination week, followed by graduation.

We look forward to further information from you concerning the number of students interested in our summer program. We need at least 10 students to operate the program, but we could accommodate more. Dr. Tenkotte leaves June 24 for China, and will return July 9, so we should try to formalize arrangements before June 24 or as soon as possible.

Sincerely,

Paul A. Tenkotte, Ph. D.
Director, International Studies

Mary S. Campbell
Director, International Services

サマー・プログラムの内容、費用に関して、これまでのファックス文書のやりとりを通して双方の大学が納得出来る最終的な合意が得られた。そこで本学英語英文学科は「海外英語演習」科目の実施に向けて、次のような案内文を作成し、4月末日、新入生たちに配布して、「海外英語演習」の受講生を早急に募集することとした。

海外英語演習科目開講に伴う

Summer Language Program の実施について

英文学科専門教育科目海外英語演習（選択、2単位）を開講するにあたり、本学英文学科はアメリカのシンシナティ市郊外にあるトマス・モア大学の協力を得て、Summer Language Program を作成してもらいました。英会話運用能力の向上を目指すだけでなく、アメリカの文化や歴史も学べるプログラムです。このプログラムに参加して、トマス・モア大学で2単位認定してもらった学生は、本学の海外英語演習科目2単位を取得したことにもなります。（現在の2年生には海外英語演習は開講されておきませんが、プログラムに参加することは出来ます。）

Summer Language Program の実施要領は次の通りです。

期日：1992年7月19日～8月9日

場所：Thomas More College

333 Thomas More Parkway

Crestview Hills, Kentucky 4107-3428

U. S. A.

費用：\$1,990 (\$1,650 + \$340) 約28万円

費用の内訳を原文で紹介します。

I. \$1,650. This includes:

A. 3 weeks of English language instruction (5 days per week, at least 3 hours per day) by a qualified English professor.

大学教育における国際交流の理論と実践

- B. Room and board in air-conditioned Thomas More College campus dormitories (3 meals per day) for 3 weeks.
- C. Two American student helpers (mentors), who will live with your students in the Thomas More College dormitories.
- D. Three or four field trips per week, including transportation and entrance fees.
- E. Textbooks and materials.
- F. Use of the campus sports facilities.
- II. \$340 additional for those students wishing to earn 2 ESL college credits. These students will be required to submit completed assignments for formal grading purposes.

Therefore, for \$1,990, a student can study and also earn 2 credit hours.

1,990 ドルの費用の中に、授業料、宿泊費、食費、小旅行費、2 単位認定のための申請費用等が含まれています。日本とアメリカ間の往復航空運賃は含んでおりません。

このプログラムに参加するかどうかについては、上記の内容をよく検討した上で、決めてください。参加希望者は 5 月 21 日(木)までに申込書(吉田研究室にあります。)に必要事項を記入の上、広瀬副手に提出してください。なお、**Summer Language Program** について質問がありましたら、吉田 (恒) 助教授または広瀬副手に尋ねてください。

上記のような案内文を新入生に配布したのち、「海外英語演習」の説明会を 5 月上旬に行った。トマス・モア大学での英語研修の内容、2 単位認定、費用、教員は引率しないことを中心に説明をした。

3 年次編入学については、国際関係学部の専門教育科目を中心に不明な点が残っているため、本学は次のようなファックス文書をトマス・モア大学に送って、「国際関係論」コースの専攻科目について更に詳しい情報を提供してもらおうこととした。

May 11, 1992

Dr. Paul A. Tenkotte
 Director, International Studies
 Ms. Mary S. Campbell
 Director, International Services
 Thomas More College

Dear Dr. Paul Tenkotte and Ms. Mary Campbell:

We thank you for your fax of 28 April 1992. We will be able to give you information concerning the number of students who wish to attend your summer language program in ten days.

We are now interested in International Studies. But we have one question about International Studies majors at your college. Is the B. A. degree program of "American Concentration for Non-Native Speakers of English" the regular program? If the B. A. degree in International Studies is regular and has the same status as other B. A. degrees, please

大学教育における国際交流の理論と実践

send us additional brochures. We look forward to hearing from you.

Sincerely,

Dr. Youki Ose
President,
Gifu City Women's College

5月中旬以降はトマス・モア大学では卒業判定の時期であり、専任教員は大変多忙であることが推測される。トマス・モア大学からの返事がこないうちに、「海外英語演習」参加希望締切日の5月21日を迎えた。周到な準備をしたにもかかわらず、「海外英語演習」受講希望者数は10名に満たなかった。受講を希望しない学生たちにその理由を尋ねたところ、専任教員が引率しない「海外英語演習」の受講については親の承諾が得られないからということが判明した。こうした困難な状況を打開するため、小瀬学長は同日、直接岐阜市の関係部局に対して「海外英語演習」科目の開講に伴う引率教員の必要性を粘り強く説いた。こうした小瀬学長の迅速な対応と強いリーダーシップにより平成4年度に限っては2名の引率教員が、平成5年度以降は1名の引率教員が設置者である岐阜市によって正式に認められることになった。

引率教員が2名認められたことを受けて、「海外英語演習」受講生の募集を再度行い、5月28日まで希望者を受け付けることにした。そしてトマス・モア大学に、これまでの経緯をまとめた内容および「海外英語演習」の成績判定に関する質問をファックス文書で送った。

May 22, 1992

Dr. Paul A. Tenkotte
Director, International Studies
Ms. Mary S. Campbell
Director, International Services
Thomas More College

Dear Dr. Paul Tenkotte and Ms. Mary Campbell:

As for your summer language program, there are some students who are undecided about attending your program. So please give us several days. We will be able to give you information concerning the number of students who wish to attend your summer language program by the end of this month.

In regard to the chaperon, luckily with the aid of Gifu City, one or two teachers will be able to accompany the students.

By the way, we have one question about 2 credits which a student can earn by attending your summer language program. Do you grade the students when you give them 2 credits? If possible, please grade them. The descriptions of grading system, for example, at our college is A, B, C and D. Grade A, B, C are considered in academic standing. Grade D means failure and no credits. We look forward to hearing from you.

Sincerely,

Dr. Youki Ose

President,
Gifu City Women's College

「海外英語演習」の成績をトマス・モア大学で判定してもらえるのかどうかということが本学では不明な点であった。この点についてのトマス・モア大学の回答は次のようであった。

May 28, 1992

Dear Dr. Ose
President
Gifu City Women's College

Dear Dr. Ose:

It was a pleasure to receive your fax (of 22 May 1992). In response to your question, concerning 2 credits for "English as a Second Language," we would be willing to assign grades. We have received approval from our Vice President of Academic Affairs, Dr. Raymond Hebert, to do so. Our grade system of grading is as follows:

A	Work of outstanding quality	4.0 for each semester hour
B+	Work of high quality	3.5 for each semester hour
B	Work of high Quality	3.0 for each semester hour
C+	Work of good quality	2.5 for each semester hour
C	Work of satisfactory quality	2.0 for each semester hour
D+	Work of satisfactory quality	1.5 for each semester hour
D	Work of inferior quality	1.0 for each semester hour
F	Work of unacceptable quality; Failure	0 for each semester hour

We are pleased to hear that one or two teachers will be able to accompany the students. We hope to hear from you soon concerning the Summer English Program students.

Please note that it is now summer vacation in the United States. Mrs. Campbell will be traveling to Greece, May 30th through June 14th. Dr. Hebert (our Vice President) will be in the Eastern United States June 2nd through June 12th. Dr. Tenkotte will be traveling to China and Hong Kong June 24th through July 9th. For these reasons, please be patient. Our responses may be slower than you are accustomed. The formal document of articulation will also be delayed because of the scattered vacation schedules, but please note that we are very interested and committed to completing the agreement.

At least two weeks before Dr. Tenkotte leaves for China, we need to know the number and final list of names of participants in the Summer English program. Thank you for your cooperation.

Sincerely,

Paul A. Tenkotte, Ph. D.
Director, International Studies

Mary S. Campbell
Director, International Services

「海外英語演習」の成績評価は結局、トマス・モア大学が本学の成績評価システムに合わせてすることとなった。また、引率教員2名の同行についてはトマス・モア大学が大変評価してくれたことは言うまでもない。

さて、引率教員2名が認められたことを受けて、「海外英語演習」の受講申し込み締め切りを5月28日まで1週間延ばした結果、受講者数は17名に増えた。受講申し込み期間が短かったにもかかわらず、受講者数が10名を超えたのは引率教員の効果が大きいに表れたためであると言える。本学はさっそく受講者数について連絡するため、次のファックス文書をトマス・モア大学に送った。

May 29, 1992

Dr. Paul A. Tenkotte
Director, International Studies
Ms. Mary S. Campbell
Director, International Services
Thomas More College

Dear Dr. Paul Tenkotte and Ms. Mary Campbell:

The number of students who wish to attend your summer language program is 17. We are now making the students fill out the application form which we will send to you as soon as possible by fax.

In regard to the chaperon, two teachers will accompany the students. So, we'd like to ask you to arrange the residence and meals (two rooms, one for female teacher and one for male teacher) for them.

We want to know about the daily schedule of English classes in the morning and the program of field trips and tours in the afternoon.

We are planning to arrive at your college in the afternoon of July 19, please arrange the dinner for 19 members in that evening, if possible. After our arrival, we wish we could have some chances to discuss the development of sister-relationship between Thomas More College and Gifu City Women's College.

We look forward to hearing from you.

Sincerely,

Dr. Youki Ose
President,
Gifu City Women's College

サマー・プログラム実施期間中の平日午前のタイム・スケジュール、午後のフィールド・トリップに関する内容のファックスがトマス・モア大学から届いた。

June 4, 1992

Dear Dr. Ose
 President
 Gifu City Women's College

Dear Dr. Ose:

Many thanks for your fax of 29 May 1992. We are happy to hear that 17 students and 2 teacher-chaperons will be coming to our program this summer.

We propose the following daily schedule for your comments:

8:00 a. m.:	wake-up
8:30 a. m.:	breakfast
9:00 a. m.:	English class (Professor Birkenhauer)
10:00 a. m.:	break
10:10 a. m.:	English class (Professor Birkenhauer)
11:10 a. m.:	break
11:20 a. m.:	English class (Professor Birkenhauer)
12:20 p. m.:	lunch
1:00 p. m.:	either American History/Culture class (Professor Tenkotte) or departure for field trip

The English classes will involve reading, writing, listening and speaking. We will provide the textbook. There will be time in the afternoon or evenings for study and homework.

There will be about 3 field trips per week. We prefer to be flexible in setting the dates for the field trips, dependent upon weather and availability of our school transportation. We will have three American History/Culture classes per week. For example, if it rains on Monday, Tuesday, and Thursday, we would have the American History/Culture class at 1:00. If the sun shines on Wednesday, Friday, and Saturday, we would take the students on a field trip. Some field trips will be short (3 hours or so). Some field trips might be an entire day. If a field trip lasting an entire day would be held on, for example, Wednesday, then we would cancel classes Wednesday and reschedule classes on Saturday or Sunday. This is generally the way we have operated the program in the past. We will have English classes 5 days per week and an American History/Culture class 3 days per week.

We would like your advice for field trips. Our program this year is for your students only, and we would like to know what might interest Japanese girls. Please advise us:

- 1) Would your students like to visit a large amusement park (Kings Island) with rides (roller coasters, etc) and shows?
- 2) Would your students like to attend a professional baseball game (the World Champion Cincinnati Reds)? Do Japanese girls like baseball?
- 3) Are any of the students Christian? If so, we can arrange that they attend Sunday services.
- 4) Would your students like to visit a large local museum (Cincinnati Museum Center) with a 360-degree movie screen?

- 5) Would your students like to go shopping in a large American mall? Are they interested in music (records, tapes), books (there is a very large bookstore in Cincinnati with 100,000 titles), clothing, etc.?
- 6) Would your students like to go to a golf driving range? Do Japanese girls like golf?
- 7) Would your students like to see an outdoor play of William Shakespeare?
- 8) Would your students like to see the United States Air Force Museum in Dayton, Ohio? or Would they rather visit the Kentucky Horse Park and Museum in Lexington, Kentucky?
- 9) Would your students like to visit the Cincinnati Zoo and see the animals?
- 10) Would your students like to go on a picnic?
- 11) We can arrange once or twice per week, use of the swimming pool, etc.

These were some of the field trips for last year's students. Perhaps you have other suggestions.

We will be happy to host the two teacher-chaperons. Our staff will consist of Professor Matt Birkenhauer of English/ESL/Student Service Department, Dr. Tenkotte, Mrs. Campbell, and Miss Heidi Zint, a Thomas More College student helper (female).

Please note the following restrictions, which apply to all of our students, American and foreign:

- 1) The use of alcoholic beverages is prohibited. It is illegal for those under the age of 21 years to buy or use alcoholic beverages in the state of Kentucky.
- 2) The use of illegal drugs is prohibited in the United States. Prescription medicines are permitted.
- 3) Students have access to laundry facilities (washers and dryers), but they must launder their own clothes.
- 4) Students have access to vending machines for between-meal snacks and drinks, but the costs for these items are the responsibility of the students.
- 5) Food, drinks, souvenirs, etc. purchased on field trips are the responsibility of the students. Thomas More College will provide three meals per day (breakfast, lunch, and dinner) while the students are on campus. Boxed lunches and other arrangements will be made when the students are away from campus for full-day field trips. For example, if we visit an amusement park (Kings Island), we might leave after finishing breakfast, English classes, and lunch. We would eat dinner at the amusement park and we might give each girl a reasonable amount (for example, \$5) for dinner. If the girls wish to buy extra drinks during the day (Coca-Cola, etc.) or candy, ice cream, popcorn, or snacks, they should pay for these items themselves.
- 6) The use of tennis courts in the United States almost always involves an hourly fee. The fee charged depends upon the number of players, the time of day, etc. Our American students must also pay this fee if they wish to play tennis.

Students should provide their own tennis rackets.

We are very happy that two teachers-chaperons will be accompanying the students. What are their names and what do they teach at Gifu City Women's College? Please have them fill out applications too, because we need the necessary information. Would they like to attend the classes and not be graded? They may do so, if they like. We would happy to have them, or they can use the class time to rest or study.

Also, will any of your students be interested in the 2 credits? Please let us know. Full payment of the amount, either \$1,650 or \$1,990 (with 2 credits), is due upon arrival.

Also, provide us with information concerning your air travel to and from Japan:

- 1) airlines
- 2) departure and airport
- 3) any stops between Japan and Cincinnati
- 4) your arrival time on July 19 in Cincinnati and airline
- 5) your departure date, airline, and time

We will arrange to meet your students and teachers at the Greater Cincinnati/Northern Kentucky International Airport on July 19, and we will have dinner for them that day. Also, we can take the students and teachers to the airport for their departure.

We are sorry that we have so many questions, but we prefer to be very thorough so that your students' trip and English education will be of the highest quality. We remain interested in a sister-school relationship, as you do. We look forward to hearing from you soon, and we desire your suggestions and advice.

Sincerely,

Paul A. Tenkotte, Ph. D.
Director, International Studies

Mary S. Campbell
Director, International Services

サマー・プログラム期間中の基本的な日課表が上記に例示されている。午前中にリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの四技能を含む英語研修があり、午後アメリカ史・アメリカ文化の講義またはフィールド・トリップが予定されている。フィールド・トリップについては本学の学生の興味・関心に合わせて細部にわたって柔軟に対応したいということで、10の質問が寄せられている。また「海外英語演習」参加者たちの日本出発から日本到着に至るまでの旅行日程についての問い合わせもある。トマス・モア大学からのこれらの質問等に対して、本学は次のような返事を送った。

June 16, 1992

Dr. Paul A. Tenkotte
Director, International Studies
Ms. Mary S. Campbell
Director, International Services
Thomas More College

Dear Dr. Paul Tenkotte and Ms. Mary Campbell;

Thank you for a lot of information on daily schedule and the field trips, etc. We are happy to agree to your plan.

You gave us 10 questions about the field trips, so we would like to answer them as follows:

- 1) Visiting a large amusement park: Yes.
- 2) Attending a professional baseball game: Yes.
- 3) We have no Christian students and teachers at all
- 4) Visiting a large local museum: Yes.
- 5) Going shopping in a large American mall: Yes.
- 6) Going to a golf driving range: No.
- 7) Seeing an outdoor play of William Shakespeare: Yes.
- 8) Seeing Air Force Museum in Dayton and visiting the Kentucky Horse Park and Museum in Lexington: Both of them, Yes.
- 9) Visiting the Cincinnati Zoo: Yes.
- 10) Going on a picnic: No.

With regard to two chaperons:

Kenichi Yamamoto, associate professor, teaches History of American Literature, Modern American Literature in seminar, English Composition, English Reading. His major is Modern American Literature, especially, the studies on Ernest Hemingway.

Etsuko Yoshida, lecturer, who majors English Linguistics, teaches English Linguistics, English Phonetics, English Grammar, English Composition, Comparative Culture.

We, two chaperons, intend to attend no classes nor be graded. If possible, let us use your library and any other research center so that we could go on our studies.

Regarding credits, five students need no credits (payment of \$1,650), while the rest of 12 students need 2 credits (\$1,990).

Travel Schedule:

7/17/Fri	Departure:	Tokyo	16:45	UA 802
	Arrival:	New York	16:30	
7/18/Sat	Free time in New York			
7/19/Sun	Departure:	New York	08:30	UA 671
	Arrival:	Chicago	09:46	
	Departure	Chicago	11:05	UA 452
	Arrival	Cincinnati	13:13	
7/20/Mon	Beginning of Summer Language Program			
8/08/Sat	End of Summer Language Program			
8/09/Sun	Departure	Cincinnati	08:40	UA 433
	Arrival	Chicago	08:52	

	Departure	Chicago	12:45	UA 881
8/10/Mon	Arrival:	Tokyo	15:30	

Sincerely,

Dr. Youki Ose
President,
Gifu City Women's College

以上、これまでみてきたトマス・モア大学とのファックス文書によるやり取りをとおして、第1回目のサマー・プログラムが実現したのである。上記サマー・プログラムに17名の学生が参加し、山本健一助教授と吉田悦子講師が引率した。サマー・プログラムに参加した学生たちの感想は概ね良好的なものであった。⁴⁾

3週間にわたるトマス・モア大学での滞在期間中に、山本助教授がサマー・プログラムと3年次編入学を主な内容とする学生の交流、および教員の交換交流等を基本的な柱とした姉妹校提携のための折衝を行った。こうした過程を経て岐阜市立女子短期大学とトマス・モア大学との姉妹校締結の実現にはさらに1年の時間を要した。姉妹校提携を中心とした内容については、稿を改めて報告する予定である。

(3)

岐阜市立女子短期大学英語英文学科がトマス・モア大学の協力を得てサマー・プログラム実施の実現に至るまでには様々な問題点が浮上し、その度毎に問題点を一つひとつ乗り越えていくことが必要であった。問題点のうちでも、特に引率教員の予算に関しては対応に大変苦慮したと言える。トマス・モア大学は本学に対してサマー・プログラムの実施に際しては本学専任教員の引率を強く求めていたため、当初岐阜市によって引率教員の海外出張旅費を認めてもらうことが出来なかった本学は、引率教員のことで頭を悩ませた。トマス・モア大学が引率教員を求めていた理由は、学生たちがサマー・プログラムの期間中に病気や事故といった不慮のトラブルに見舞われた時の対応係として行動してもらいたいこと、トマス・モア大学のスタッフとの学術的および文化的交流を深めてもらいたいこと等であった。引率教員の件に関しては、岐阜市に対する本学小瀬学長の粘り強い折衝の結果、平成4年度(1992)は2名、平成5年度(1993)以降は毎年1名の引率教員の海外出張旅費が認められることとなった。こうして第1回目のサマー・プログラムは苦難の末、実現の運びとなった。学長の強いリーダーシップがなかったならば、トマス・モア大学でのサマー・プログラムの永続的な実施はあり得なかったということを指摘しておきたい。

本学卒業生の3年次編入学の件に関しては、本学で履修した科目の単位数を出来るだけ多く認定してもらえるように、双方の大学が納得できるまで科目内容について情報交換をすることが大切である。本学はトマス・モア大学との綿密な情報交換を通して、本学での履修単位数60単位のうち51単位をトマス・モア大学卒業に必要な必修単位数として認めてもらうことが出来た。このことが本学卒業生の3年次編入学をより現実的なものにしたことは言うまでもない。

トマス・モア大学との国際交流を永続的、安定的なものとするためには双方の大学が互いに相手の大学の事情をよく理解し、尊重し、互いの立場を認め合うという姿勢が必要である。この点については、これまで国際交流についての知識と体験に極めて乏しかった本学の立場をトマス・モア大学は十分に理解してくれ、本学との国際交流に終始一貫して協力的、友好的であった。大学間の国際交流に関しては、このような点を念頭に推し進めていくことが、今後の交流を実りある有意義なものとするために必要不可欠であると言えよう。

注

- 1) 平成12年4月にこれまでの英文学科という学科名を英語英文学科に名称変更した。本論では混乱を避けるため、学科名を英語英文学科として統一した。
- 2) 岐阜市立女子短期大学自己評価委員会「新キャンパスと学科再編—平成11年度自己評価報告書」2000年3月、p. 28.

大学教育における国際交流の理論と実践

本報告書に明記されている英語英文学科の教育理念・目標は、国際化の流れが顕著となってきた平成元年にすでに定められていたことをお断りしておく。

- 3) 平成4年(1992)6月までの文書のやり取りを通して、国際交流の一環としての「海外英語演習」をトマス・モア大学で初めて実施することが出来た。

- 4) 「海外英語演習」に参加した学生たちの意識調査については、次の二つの小論で報告した。

山本健一、吉田恒義「短期大学英語教育に関する学生意識の総合的研究 (IV) ー海外英語演習について その1」(岐阜市立女子短期大学研究紀要、第43輯、1993)

吉田恒義、山本健一「短期大学英語教育に関する学生意識の総合的研究 (IV) ー海外英語演習について その2」(岐阜市立女子短期大学研究紀要、第44輯、1994)

(提出期日 2003年3月5日)